

回数	日程	概要
第6回	2021年1月26日	<p>これまでの検討から導いた、将来都市像「暮らしとまちのビジョン」の実現に向けた「都市構造」や「都市づくりの基本方針」について議論頂きました。</p> <p>将来都市構造を「まちのつくり(1)拠点と軸」「まちのつくり(2)日々の暮らしを支える場」に整理した事務局案について、</p> <p>「まちの拠点と軸は、都市単独の意味ではなく広域的な位置づけに基づいているため、前提とすべき大きな都市の骨格と捉えても良いのではないか」</p> <p>「都市的な賑わいも欲しいが、生活のしやすさが前面に出た拠点が23区とは違う町田の特徴になりうるので、生活の視点をメインに都市構造を考えてもいいのではないか。」</p> <p>「暮らしのかなめとしているロードサイドの集積について、自動車中心の街に見えないように表現を工夫すべき」などのご意見をいただきました。</p> <p>都市づくりの基本方針を「7つのゴールと11のアクション」に整理した事務局案については、</p> <p>「7つのゴール・11のアクションそのものは理解できるが、暮らしとまちのビジョンや都市構造とどう関係するかが見えない。ゴールとアクションを先に示し、暮らしとまちのビジョンや施策の内容を後に示した方がわかりやすいのではないか。」</p> <p>「7つのゴール・11のアクションについて、ゴールとアクションという言い方はわかりにくい。」などのご意見をいただきました。</p>
第7回	2021年3月26日	<p>マスタープランの全体構成案及び町田市の都市づくりをけん引するプロジェクトを中心に議論いただきました。</p> <p>マスタープランの全体構成案について、</p> <p>「ビジョンを前面に出していく趣旨はいいが、そのビジョンを実現する中で、現状とのギャップである課題が解決されるか整理出来ると良い。」</p> <p>「ビジョン編のまちの“かたちとつくり”の名称について、“つくり”は納得するが、“かたち”から暮らしの図であることが連想出来ると良い。」</p> <p>「都市計画編の土地利用や都市施設の方針は、町田市の将来人口・計画人口とどう整合しているか。都市・住宅のフィジカルな密度と人口密度の関係をうまく見せられると良い」</p> <p>などのご意見を頂きました。</p> <p>町田市の都市づくりをけん引する3つのプロジェクトについては</p> <p>「プロジェクトというよりは、ここで書かれているのはビジョンを具体化したものである。プロジェクトは事業というイメージが強いので、リーディングエリアの具体ビジョンのようなニュアンスが出ると良い。」</p> <p>「例えば、アクティブタウン化プロジェクトのように、目標像をイメージ出来るプロジェクト名にすることで実現したいことが明確になると思う。」</p> <p>などに加え、町田駅周辺、木曽山崎、忠生・北部周辺の各プロジェクトの具体的な取組み内容についても、ご意見をいただきました。</p>

回数	日程	概要
第8回	2021年5月26日	<p>マスタープランの方針編を中心にご議論いただきました。</p> <p>都市計画パートについては、「(従来の土地利用の類型に)複合系を位置付けることには賛成する。複合系をどう上手に使っていくかが今後大事になる」などのご意見を頂きました。</p> <p>交通パートについては、「”小さなゆったりした交通”や”大きな速い交通”は良いキーワードだと思うので、都市計画パートの方にも入れて上手く整合させたい」などのご意見を頂きました。</p> <p>住まいパートについては、「商業地の住宅について、eコマースが増えて商業用途が少なくなっていく、住宅にシフトしていく。その時の住環境は大事」や「団地再生の課題として一団地の住宅施設は大きい。何かしらの記載があると良い」などのご意見を頂きました。</p> <p>みどりパートについては、「斜面緑地の話を防災や住環境の観点から記載すべき」や「グリーンインフラと言ったときに、雨水マネジメント機能を持つインフラを入れるという検討はなされているのか」などのご意見を頂きました。</p> <p>分野横断的なリーディングプロジェクトについては、「プロジェクトを推進していくための取組みが既にあるのであれば、推進方法や組織形成について具体的なプロセスまで含めて表現すべき」などのご意見をいただきました。</p> <p>また、報告事項として都市づくりのマスタープランと協働・連携の関係にある、「町田市住みよい街づくり条例」改正に関する審査会答申について事務局より報告いたしました。</p>
第9回	2021年7月21日	<p>これまでの議論を振り返り、マスタープラン全体を横断的な視点から再確認し、不足する点などを補って最終とりまとめを行いました。</p> <p>ビジョン編の将来のまちの“かたち”と“つくり”について、“かたち”という名称はどうしてもフィジカルなものを思い浮かべてしまう。例えばまちの“もよう”が良いのではないかといったご意見をいただきました。</p> <p>方針編(都市計画)の中で、ラストワンマイルの物流がニーズとして高まっている中で、あまり触れられていないといったご意見をいただきました。</p> <p>方針編(交通)では、74頁の「環境配慮」などの部分の記述が少し薄い。後ろの方にはキーワードが出ているので、もう少し強調しても良いといったご意見をいただきました。</p> <p>方針編(住まい)では、90頁の施策Ⅰの方向性②主な取組 i に使われている「防火性」は「耐火性」としたほうが良いといったご意見をいただきました。</p> <p>方針編(みどり)では、みどりを残して維持していくとなると、管理コストを誰が負担するかということになるが、行政や地権者が負担するのだと続かないといったご意見をいただきました。</p> <p>全体を通して、マスタープランをもとにどう具体化し、実効性のある施策に結びつけていくかが肝要。街づくり条例と連動してコンテンツ編が増えていくことに期待しているといったご意見をいただきました。</p>